

令和5年度 認定こども園足久保こども園 学校関係者評価

**自己評価** 令和5年11月実施

職員が評価シートをもとに、自らを振り返りながら自己評価を行った。

**学校評価 保護者アンケート** 令和5年2月実施 次回 令和6年2月実施

アンケート用紙を作成し、全園児保護者を対象にアンケートを実施した。

**学校関係者評価** 令和5年9月8日 開催

(選出した評価委員2名の方に公開保育に来ていただき、その後、園長・主幹保育教諭を交えての協議会を実施)

令和6年1月18日 開催

(自己評価をもとに議論・1年間の振り返り)

令和6年1月18日～令和6年1月31日 評価委員による評価と意見提出期間

足久保こども園の教育・保育目標

「自ら学び 共に育つ」

- ・明るく元気な子・思いやりのある子・あいさつができる子
- ・話が聞ける子・自分を表現できる子

1. 園の教育・保育の具体的な基本目標

- (1) 活動体験を十分に積み重ねる。
- (2) 養護による自己発揮を考慮し、乳幼児期にふさわしい生活の展開をしていく。
- (3) 遊びを通じた指導を中心として5領域のねらいを達成する。
- (4) 園児一人一人の課題に即した指導を行う。

2. 学校関係者評価項目の取り組み・達成結果の自己評価 ①小学校校長 ②足久保こども園保護者会会長

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価	反省・改善点等	評価	意見
1	保育の計画性	A 2 B 10 C 13 D 2	フリー保育士と担任が話し合う時間や意見交換する時間の確保が難しい為、計画の周知や活動の共有が今後課題である。 「子ども主体性」を重視した活動計画を意識して計画を立てた。 行事はゆとりをもって計画的に活動を進めていきたい。	①A ②A	①子どもの思いを大切に日々の活動を進めていることがよくわかる。勤務体制の違いの中職員の情報共有はできるところで進められたら良いと思う。 ②行事の準備がしっかりされている。普段の忙しい保育の中で準備が大変だと思う。
2	保育の在り方 幼児・乳児の対応	A 4 B 16 C 9 D 1	主任を中心に職員が連携をとりながら日々の保育を行った。 こどもの発達を捉えながら保育することを心がけた。 こどもの気持ちに寄り添う保育を今後もみんなで勉強していきたい。 子どもにとって必要な経験はどんなことを、こどもの興味関心から読み取る保育ができるようにこれからも努力していきたい。	①A ②A	①小学校としても発達をその期間だけでなく長い視点で考えられるようにしていきたい。 ②強制ではなく、子どもの気持ちに寄り添っていると思う。こどもがリラックスしていると思う。 学年に応じて集団で一つのことに取り組み、先生の話をしっかり聞く時間があっていいと思う。

3	教諭としての 資質・能力 良識・適正	A 0 B 13 C 15 D 0	行事が続き活動が忙しくなると保育士自身にゆとりがなくなる。 不適切保育がニュースになり、自分の保育を振り返ることも多々あった。これでいいのかと自問自答することが多かった。そのような時は、職員同士、語り合う時間をもっと確保されるとよいと感じる。	①B ②A	①職員一人ひとりがそれぞれの志を持ち「命と人権が最優先」で取り組む事。互いに認め合う職員集団であることを大切にしてほしい。 ②子どもが笑って帰ってきて園での出来事を話してくれる。1日の中で子どもから離れる時間を作るのも必要と感じる。
4	保護者への対応	A 0 B 16 C 11 D 3	研修で学んだことを意識しながら対応することを心がけた。 遊びの中に大切な学びがあることを理解してもらえるように、対応を工夫し、写真、動画も活用した。 発達面や言語について気になることを伝える際の伝え方について悩む部分がある。どのように話を進めていくのか職員間で慎重に考えて進めていきたい。	①B ②A	①アプリを導入し保護者対応が適切にできている。無理せず、まず子どもにも保護者にも寄り添っていく姿勢を第一にすることが大切だと考える。 ②子育てで悩むことがあると園に相談していて、心強い。色々な保護者がいて個性もあり、伝えるのに言葉を選び大変難しいと思う。
5	地域の自然や 社会との関わり	A 1 B 6 C 10 D 12	地域の自然に触れられる散歩の機会が少なかった。時期や季節の「ねらい」をもち、もっと活動に取り入れてほしい。 地域の集会に参加できるようになって良かった。地域にある施設や店にも注目して、活動に取り入れていきたい。	①B ②B	①アフターコロナや熊対応など大変だと思う。できることから安全第一で進めていくことが大事。 ②気候の良い時期はもっと外に散歩に行けるとよいが、引率職員の確保など現状難しいことも分かった。
6	研修と研究	A 1 B 11 C 14 D 3	園内研修担当者として、毎月の研修内容の検討、研修の実施、振り返りができたことは園全体の様子を知ることができた。研修を受ける側ではなく、運営側の視点等も知ることができ、大きな学びとなった。 園内研修では他クラスとの意見交換や客観的な視点を知ることができ、保育に生かすことができている。それにより、乳児、幼児の職員間の共有ができてよい。 園内、園外の研修で学んだことを園全体で共有できていない。	①A ②A	①付箋を活用し日々の業務の中で工夫し研修をしていると思う。日々語り合う時間を大切により良い方向に進むとよい。 ②日々、行事や保育で忙しい中、集まってミーティングを行っている様子を見ます。園の雰囲気が良いのは全体のミーティングが度々行われているから志気が上がっていると思う。

A 十分達成されている

B 達成されている

C 取り組まれているが達成されていない

D 取り組みが不十分である